

●授業の様子

- ・2学年全員(計7クラス)が食堂に集合して、職場体験先へのお礼状作成の授業を行いました。(便箋・封筒を活用)
- ・学年主任の先生が、手紙の書き方体験授業テキスト(P.18以降)をベースに、気持ちの伝わる手紙の良さを実際に感じて貰えるように、オープンクエスチョン・クローズドクエスチョンを取込みながら説明をされていた為、生徒達の関心も高く、手紙を書くことに対して「改まった姿勢」で取り組んでいました。
- ・概要、作業手順説明後、テキスト(P.27)に、各自職場体験先へのお礼状の下書きを行いました。皆真剣に考えながら、丁寧な字で書いていました。

●先生の感想

- ・SNSの普及により手紙を書く機会は少なくなってきましたが、授業を通じて、手紙で気持ちを伝えることの重要性を感じてほしいです。日本の伝統や文化でもある「手紙」を書くことにより、相手を思いながら丁寧な文字で書き、文章を考えながら表現力を伸ばせることを期待しています。



●授業の様子

- ・事前に集計したアンケートの結果をグラフ化して画面に投影し、各クラスの生徒の手紙に対する認識度を確認しました。また、切手には様々な種類があるということ、テキストや先生が購入した記念切手(伝統色シリーズ)を使って紹介し、郵便に対する興味を喚起していました。
- ・「メール(メッセージ)」「はがき」「手紙(便せん)」の長所と短所をテキスト(P.6)に記入し、それぞれの特徴についてまとめ、「場面や状況によって、メールやはがきなどを使い分けるのが良い」ことを理解していました。

●先生の感想

- ・前任校の時より手紙授業に取り組み、1年生には小学校の先生へ、2年生には職場体験のお礼状として、生徒に手紙を書く機会を作っています。
- ・授業でも取り上げたが、メールやラインとは異なる手紙の良さを知り、実際に送ってみることが大事だと思いました。

